

第 19 回東海交流フォーラム開催ご案内（一次）

特定非営利活動法人・地域と協同の研究センター

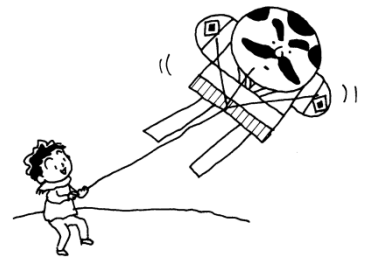
「協同」が生まれる地域社会づくり ～共同と協同、協働～（仮題）

第 19 回東海交流フォーラム第 3 回実行委員会が、2022 年 12 月 17 日（土）コープあいち生協生活文化会館（名古屋市千種区）で開催され、4 つの地域懇談会と研究フォーラム「地域福祉をささえる市民協同」から、実践・研究事例を共有しました。

協同をどのように広げれば私たちの生活課題は解決するか？ 小さなつながりと新しい市民社会像はどんなつながりがあるのか？

東海交流フォーラムは、地域で進む実践交流を通して、こうしたテーマを多くの会員で考え合う場です。

開催案内（一次）をお届けします。参加についてご予定くださるようお願いいたします。



参加費は「ナシ」。参加申込み受け付けは 1 月下旬の最終開催案内後、開始します。

日時 2023 年 2 月 11 日（土）10～16 時（予定）

開催会場 コープあいち生協生活文化会館 4 階会議室 1, 2

第 19 回東海交流フォーラムもオンライン参加を併用して開催する予定です。

また、地域会場の設置はこれから地域懇談会で相談をすすめます。

1 月下旬の最終のご案内でお知らせします。

■■■おすすめ方（骨格）■■■

- ①4 つの地域懇談会から、それぞれ 40 分を目安にした発表を共有（午前 3 地域、午後 1 地域）。
- ②参加者同士で自身の考え、受け止めを話し合うグループ交流（オンラインも、会場も）
- ③グループ交流を共有し、今東海交流フォーラムのテーマについて全体で深めます。

裏面：実行委員会で共有し合った東海各地域の実践

実行委員会で共有し合った東海各地域の実践

三河地域懇談会

「粋な古い支度」をテーマに食と健康、環境、防災などを会員で考え合う場を広げてきた。昨年までコロナでできなかったフィールドワークが今年ではできるようになり、食文化・伝統食「煮味噌（にみそ）」を研究する一環で「野田味噌（愛知県豊田市）」を訪問。12 月にはその「煮味噌」を実際に作り、交流。また、11 月は「結カフェ（ゆいかふえ・愛知県新城市・やなマルシェ）」を訪問。午前は子どもの遊ぶ場、午後は結カフェでお年寄りが集まり、多世代の繋がりがあった。やなマルシェには若い人が参加し始めていた。コロナで出来なかった「寄らまいかん」を 3 年ぶりに来年 3 月に開催できないか相談中。

東海交流フォーラムでは味噌文化や防災について交流したい。フォーラム当日はやなマルシェとオンラインでつなげられればいいな！

岐阜地域懇談会

昨年フォーラムで報告した「中野方町協議会（岐阜県恵那市）」を訪問。地域の「NPO まめに暮らそまい会」（外出支援、一時保育・学童、高齢者、ふれあいサロンなど 6 事業）の実践を知った。秋の岐阜県生協大会では飛騨市長が人口減少への先進的対策を講演。飛騨市の商品をコープぎふ店舗で 5 回ほど扱い好評（岩魚、手羽先など）。中野方町の 6 次化商品を生協で扱えないか、相談中。

「ささえあいの家（岐阜県各務原市八木山地区社協）」のその後・コロナ下の実践を学んだ。コロナ下でも認知症・介護者への寄り添いに取り組む清水孝子さんの報告も検討したい。

75 歳以上でも元気なお年寄りが活躍できる場をみんなで考え合いたい。

三重地域懇談会

この 3 年間、多文化共生・海外ルーツ住民のくらしを見聞きしてきたが、「みえ市民活動ボランティアセンター」が中心になり今後 5 年間、多文化共生を取り上げ、市町単位に考え・理解し合う場づくり

をすすめている。三重県での取組みを同センター長から取組みを紹介してもらい、愛知県・岐阜県で共有し、岐阜・愛知の取組みも交流できるといい。

同センター長のお話を聞いて：多文化はこれまで遠いイメージだったが、隣人、男女、老若の「異質さを互いに折り合うこと」と同じと気づいた。ある調査では LGBTQ は左利きと同じ割合。多世代、異文化がそれぞれの資源を出し合って、協働できる可能性を見つけあえるといいな！

尾張地域懇談会

昨年発表した会員アンケートをもとにふたつの NPO を訪問。「名古屋難民支援室（名古屋市中区）」で難民支援とウクライナ避難民支援にふれ、会員・市民が参加する食料支援に広がっている。「エム・トゥ・エム（愛知県瀬戸市）」はコロナ下で菱野団地の生活弱者への支援を継続しており、同 NPO「さるなかとんな toto...（どうぞランチなど）」での食料支援・交流活動を見学。さるなかとんな toto...には金城学院大学ゼミ生が毎週参加して、瀬戸市で暮らす海外ルーツ住民に届く情報と暮らしを調査中。東海交流フォーラムでは同大ゼミ生が発表できる可能性あり。「若い世代」とともに交流し、生協の関わりを考え合えるといい。

エム・トゥ・エム訪問から：これからはみんなで一緒に暮らす方向性を探ることが大事。瀬戸の取組みが他の地域に広がるといい。コープあいちで始まったダイバーシティとの関連・連携も考え合いたい。

研究フォーラム

地域福祉をささえる市民協同

岐阜地域懇談会の中野方町は「中山間地」、ささえあいの家は「比較的都市部」の実践。地縁・血縁が存在する地域と、それらがなく集まってきた人々でくらす地域のささえあいの違いと共通するものは何か？「ガーデン大山田（三重県桑名市）」の取組みも絡め、東海交流フォーラムで考え合えるといい。

